

2025 年 6 月 20 日
経営学研究科教授会承認

法政大学大学院経営学研究科

研究指導計画

(修士課程・昼間)

【研究指導体制】

- ・ 1 年次は、研究科長、専攻副主任、関連領域の教員が中心になり、研究テーマの決定を指導する。
- ・ 研究テーマにもとづき、昼間コース教員による合議のうえで、2 年次の指導教員を決定する。
- ・ 2 年次は、指導教員の経営学演習を履修させ、審査基準を満たす修士論文またはリサーチペーパーが作成できるよう、研究指導を行う。
- ・ 研究指導は、指導教員が中心となるが、研究テーマに関連する領域の教員による集団指導も行う。

【1 年次】

「4 月」

- ・ 研究科長と専攻副主任によるオリエンテーションでの指導のもとに、経営学専攻（修士課程・昼間）設置科目を履修させる。
- ・ 必要に応じて、経営学専攻修士課程・夜間の設置科目（16 単位まで）や他専攻科目（10 単位まで）を履修させる。
- ・ 研究倫理教育である e ラーニング（eL-Core）の修了証を提出させる。
- ・ 留学生については、国際日本学インスティテュート主催の「日本語論文作成」科目を履修させる。また能力に応じて、研究科共通科目の「日本語論文作成」科目も履修させる。

「4 月～1 月」

- ・ 各教員が指導および助言を行い、各自で研究テーマを決定させ、研究計画を作成させる。

「10 月～2 月」

- ・ 研究テーマにもとづき、関連領域の教員による合議のうえ、2年次の指導教員を確定する。

【2年次】

「4月」

- ・ 指導教員の経営学演習を履修させ、研究指導を開始する。
- ・ 指導教員の指導のもとに経営学専攻（修士課程・昼間）設置科目を履修させる。
- ・ 必要に応じて、経営学専攻修士課程・夜間の設置科目（16単位まで）や他専攻科目（10単位まで）を履修させる。

「4月～12月」

- ・ 指導教員が、修士論文あるいはリサーチペーパーの作成に向けた研究指導を行う。
- ・ テーマおよび研究計画の再検討、先行研究の調査、研究内容と方法の決定、データの収集・分析と結果の検討、論文の執筆を指導する。
- ・ 研究指導は指導教員を中心に行うが、関連領域の教員による集団指導も行う。
- ・ 関連領域の教員は、集団指導の具体的内容を決定し、学生に提示する。

「7月～10月」

- ・ 中間報告会を行い、関連領域の教員による集団指導を行う。

「10月」

- ・ 所定の日程までに修士論文あるいはリサーチペーパーの予備登録をさせる。

「12月～1月」

- ・ 所定の日程までに修士論文あるいはリサーチペーパーを提出させる。
- ・ 所定の日程に口頭試問による最終審査を行う。